

豊かな自然に囲まれ、登山を満喫

宝仏山登山道開き



手つかずの自然を楽しみながら進む登山客

町内の最高峰、宝仏山^{ほうぶつさん}（標高1,005m）の登山シーズン到来を告げる登山道開き（ごうぎんすぎの子会主催）が、4月29日、登山道入口の町歴史民俗資料館前で開かれました。

当日は、晴天に恵まれ絶好の登山日和となり、町内外の登山愛好家や関係者を含め約30人が参加しました。登山を前に、山の安全を祈願する神事が行われ、ごうぎんすぎの子会の稲田耕会長（根雨）が「恒例となった山開き。最近では宝仏山が口コミで広がり、登山客が増えるなど人気が出ている」と話し、「今年は、登山道の道しるべである標識を新しくした。

これからも登山を安全に楽しんでもらえるよう、登山道整備を進めていきたい」とあいさつしました。

同会は、4月17日に登山道整備を行い、積雪などで倒れた木を取り除いたり、生い茂った草を刈ったりするなど、登山客を迎える準備をしてこの日を迎えました。

会場では、町歴史民俗資料館友の会によるコーヒートお茶が振る舞われたほか、セルプひのによるバザーも行われました。

神事が終わり、この日を待ちに待っていた登山客らは、それぞれ準備を整えると、頂上をめざし出発していきましました。

ツツジと八重桜の競演を楽しむ

滝山公園つつじまつり



咲き乱れるツツジに見入る

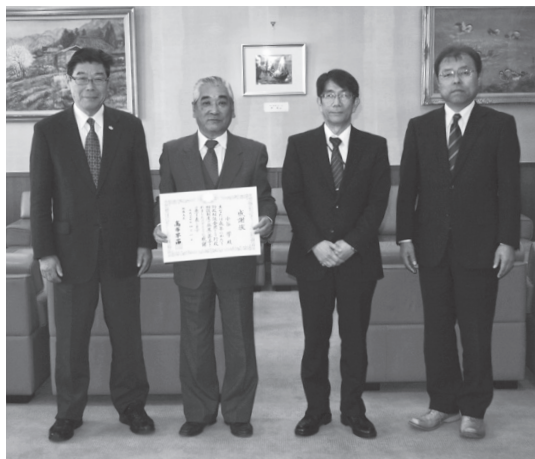
日野町のツツジとサクラの名所、滝山公園（中萱）で、毎年恒例のつつじまつり（町観光協会主催）が、4月18日から5月6日まで開かれ、多くの人が出でにぎわいました。

公園内には、多くのミツバツツジと八重桜が咲き乱れ、その競演を楽しもうと町内外から多くの行楽客が訪れました。

期間中は晴天に恵まれ、行楽客は、ピンク色に染まった公園内を散策したり、ツツジの下で弁当を食べたりと楽しく時間を過ごしていました。

豊富な行政経験を生かす

小谷学さんに総務大臣感謝状



感謝状を受け、喜ぶ小谷さん（左から2番目）

4月22日、小谷学さん（野田）に、行政相談員総務大臣感謝状が贈られ、役場で伝達を受けました。

これは、平成20年8月から平成27年3月まで、行政相談委員として住民の行政に対する苦情解決などに尽力してきたことが評価されたものです。

行政相談委員は、国・県・町などの役所の仕事や手続きなどについての疑問や苦情を受け付け、その解決のための助言や関係行政機関に対する通知などを行っています。

行政相談は毎月第2水曜日に開いています。皆さん、お気軽にご相談ください。



勝利をつかめ！ホームへのスライディング



一球一球力を込めて投げる

第38回日野郡少年野球日野町大会兼
第35回全日本学童軟式野球大会日野郡予選

みんなでつかんだ1勝

4月29日、第38回日野郡少年野球日野町大会兼第35回全日本学童軟式野球大会日野郡予選が、根雨小学校グラウンドで開かれました。日野郡3町から1チームずつ計3チームが参加し、日野町からは、4大会ぶりの出場となった前回大会から続けて根雨スポーツ少年団が出場しました。晴天の下、会場には、選手の保護者や観客が数多く駆け付け、大会を盛り上げました。

根雨スポーツ少年団の初戦の相手は、チロルジュニア江府（江府町）。序盤から5失点という苦しい試合展開でしたが、後半に1点差まで詰め寄ると、最終回に2得点し逆転勝ちしました。

次戦の日南オールスターズ（日南町）には、惜しくも敗れ、根雨スポーツ少年団は得失点差で3位となりました。なお、大会はチロルジュニア江府が優勝しました。

惜しくも優勝は逃したものの、この大会で1勝を上げ、選手らが最後まであきらめることなく、全力でプレーする姿に、選手の保護者や観客から大きな声援と拍手が送られていました。



心を込めて作業を行う

訪れる参拝者のために
地域で金持神社の環境整備

4月5日、金持自治会住民が、金持神社拝殿前の庭に碎石を敷きつめました。

これは、毎年多くの参拝者が訪れる金持神社の環境整備に役立ててもらおうと、ケイナン産業（金持）が寄贈したものです。当日は、雨の中10人が参加し、碎石を庭に広げていきました。

また、4月18日には、金持長寿会が、金持神社の鳥居と拝殿に飾るしめ縄づくりを行いました。しめ縄づくりに参加した、若林朗さんは「毎年人数が減っていき、今後でもできるか心配だが、頑張って続けていきたい」と話しました。



鍛えてきたパドルさばきで荒い瀬に立ち向かう

第32回鳥取県カヌー選手権大会

自分の腕を信じてパドルをこぐ

日野川を舞台に、4月26日、第32回鳥取県カヌー大会が開かれ、県内外から42人の選手が参加し、日ごろから鍛えてきたカヌーの腕前を披露しました。

大会では、下菅の恩田晃壮さんが、C-1クラスで3位、ジュニアK-1クラスで6位という好成績を収めました。

観客からは、選手らが日野川の荒い瀬を見事なパドルさばきで下っていく姿に大きな歓声が上がったり、声援が送られたりしていました。